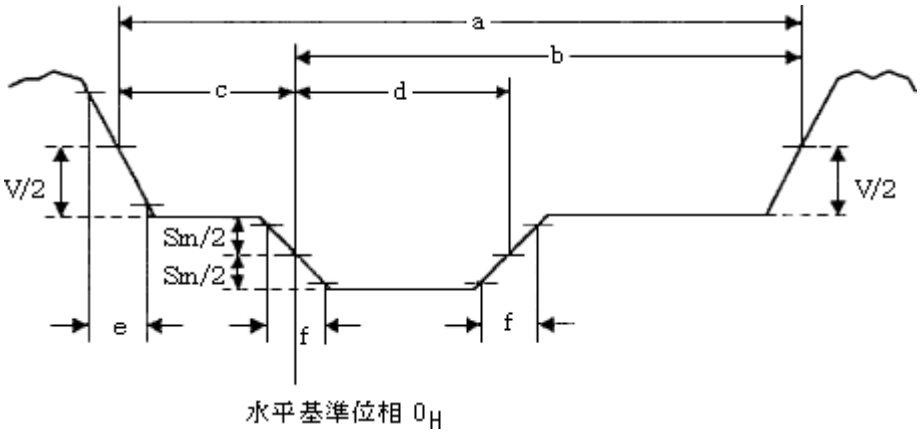
別図第四号の八の六　水平同期信号及び垂直同期信号の波形の許容範囲(第37条の27の10第1項、第37条の27の16第1項及び第37条の27の19第1項関係)

1　走査線数が525本であつて、走査方式が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1)　水平同期信号の波形



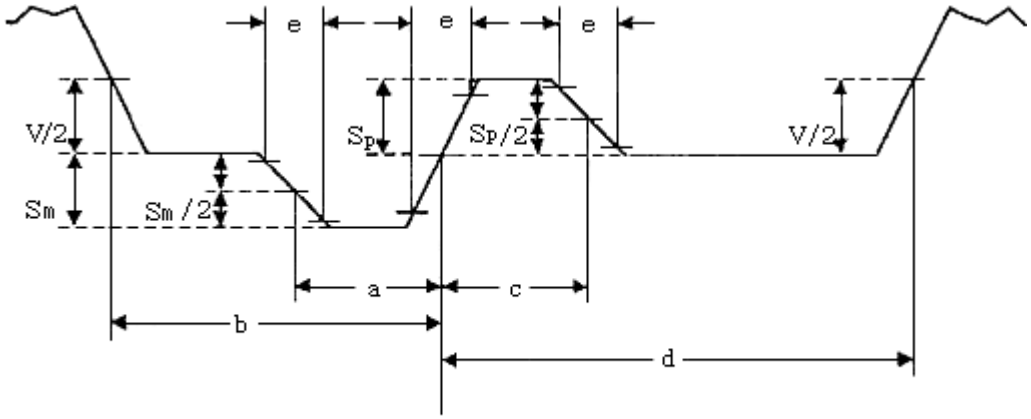
(2)　水平同期信号の許容範囲

項目		許容範囲	
記号	走査線数	525本	
	走査方式	1本おき	順次
a	水平ブランキング期間(μs)	10.70＋0.30 －0.20	5.35＋0.15 －0.10
b	映像信号開始点(μs)	9.20＋0.20 －0.10	4.60＋0.10 －0.05
c	映像信号終了点(μs)	1.50±0.10	0.75±0.05
d	負極性パルス幅(μs)	4.70±0.10	2.35±0.05
e	水平ブランキング立ち下り時間(10～90%)(μs)	0.14±0.02	0.07±0.01
f	水平同期信号立ち下り／立ち上り時間(10～90%)(μs)	0.14±0.02	0.07±0.01
Sm	負極正パルス振幅(mV)	300±7.5	300±7.5

注　Vは映像信号の振幅を示し、700(mV)である。

2　走査線数が750本であつて、走査方式が順次の場合の水平同期信号

(1)　水平同期信号の波形



水平基準位相 0_H

(2)　水平同期信号のレベルの許容範囲

記　号	項　　目	許　容　範　囲
Sm	負極性パルス振幅(mV)	300±6
Sp	正極性パルス振幅(mV)	300±6

(3)　水平同期信号の許容範囲

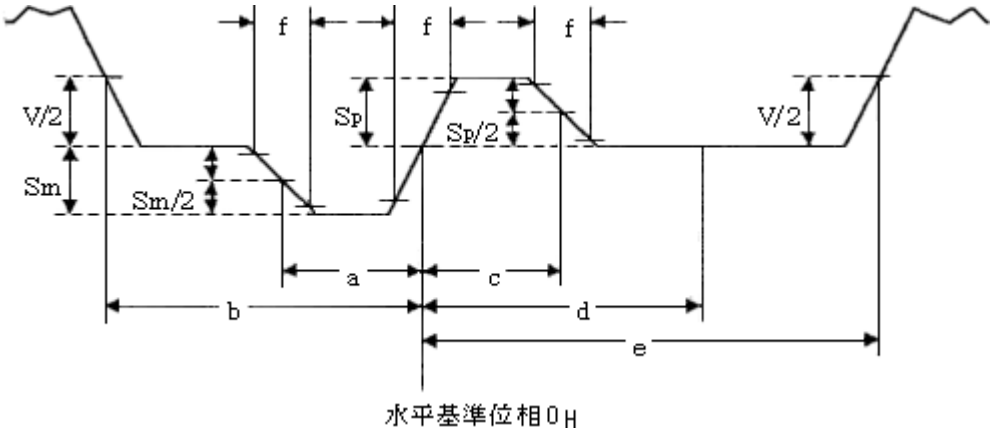
記　号	項　　目	許　容　範　囲
a	負極性パルス開始点(T)	40±3
b	映像信号終了点(T)	110－0 ＋6
c	正極性パルス終了点(T)	40±3
d	映像信号開始点(T)	260－0 ＋6
e	パルス立ち上がり時間／立ち下がり時間(T)	4±1.5

注1　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2　Vは映像信号の振幅を示し、700(mV)である。

3　走査線数が1125本であつて、走査方法が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1)　水平同期信号の波形



(2)　水平同期信号のレベルの許容範囲

記　号	項　　目	許　容　範　囲
Sm	負極性パルス振幅(mV)	300±6
Sp	正極性パルス振幅(mV)	300±6

(3)　水平同期信号の許容範囲

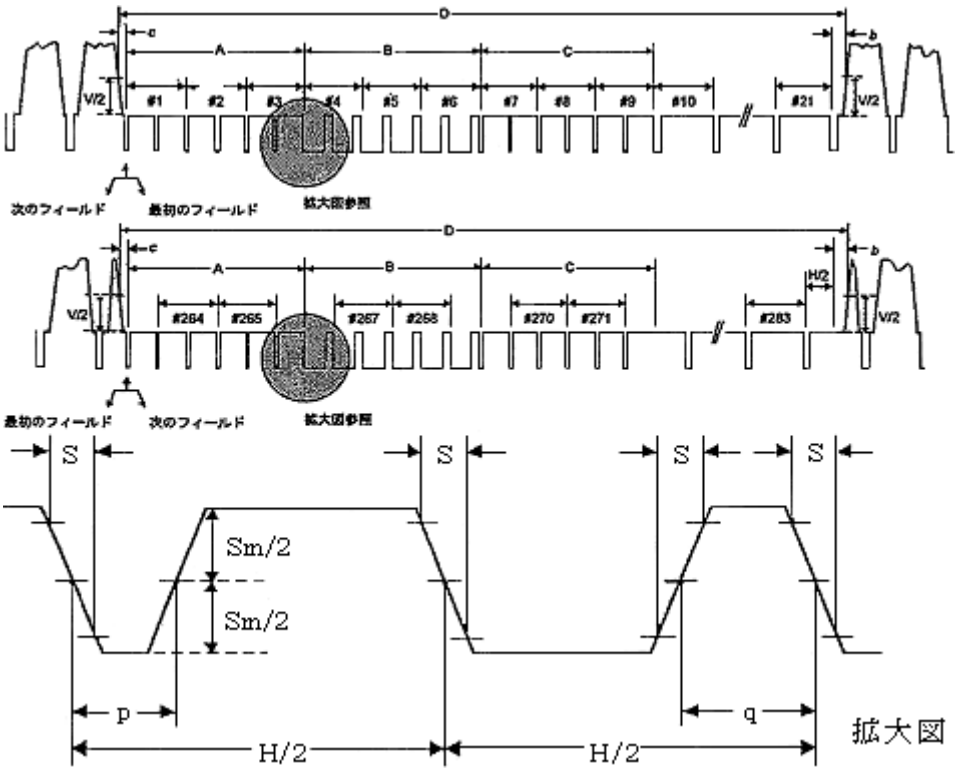
記　号	項　　目	許　容　範　囲
a	負極性パルス開始点(T)	44±3
b	映像信号終了点(T)	88－0 ＋6
c	正極性パルス終了点(T)	44±3
d	クランプ終了点(T)	132±3
e	映像信号開始点(T)	192－0 ＋6
f	パルス立ち上り時間／立ち下がり時間(T)	4±1.5

注1　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2　Vは映像信号の振幅を示し、700(mV)である。

4　走査線数が525本であつて、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1)　垂直同期信号の波形



(2)　垂直同期信号の許容範囲

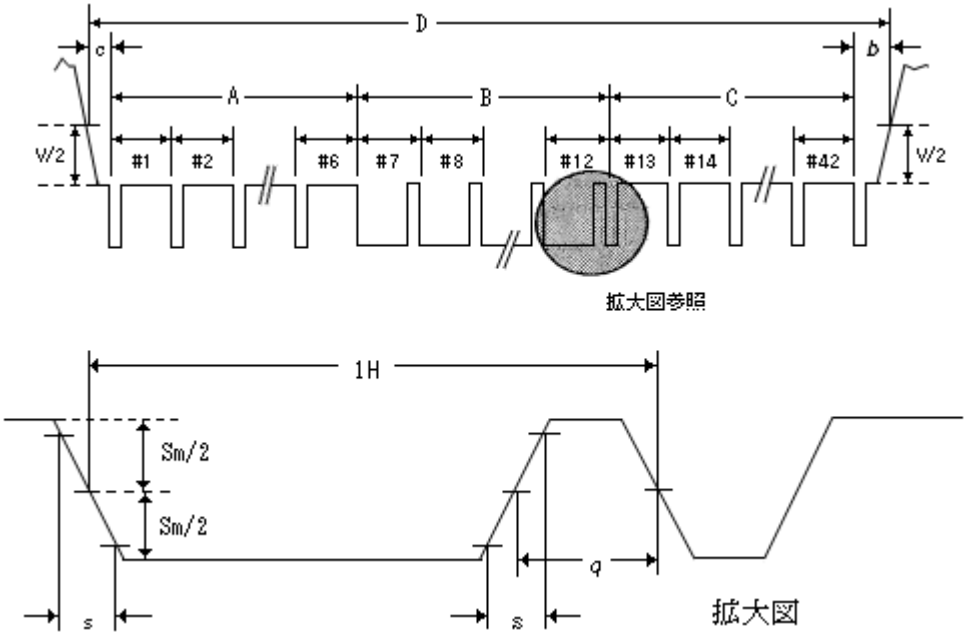
記　号	項　　目	許　容　範　囲
D	垂直ブランキング期間(μs)	21H＋10.7＋0.30 －0.20
A	等化パルス期間(H)	3±0
B	垂直同期パルス期間(H)	3±0
C	等化パルス期間(H)	3±0
s	垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間(10―90%)(μs)	0.14±0.02
p	等化パルス幅(μs)	2.30±0.10
q	垂直セレーションパルス幅(μs)	4.70±0.10

注1　Hは1水平走査期間を示し、1001／15.75(μs)である。

2　a、b、c、Sm及びVは、1の(2)に示す値とする。

5　走査線数が525本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1)　垂直同期信号の波形



(2)　垂直同期信号の許容範囲

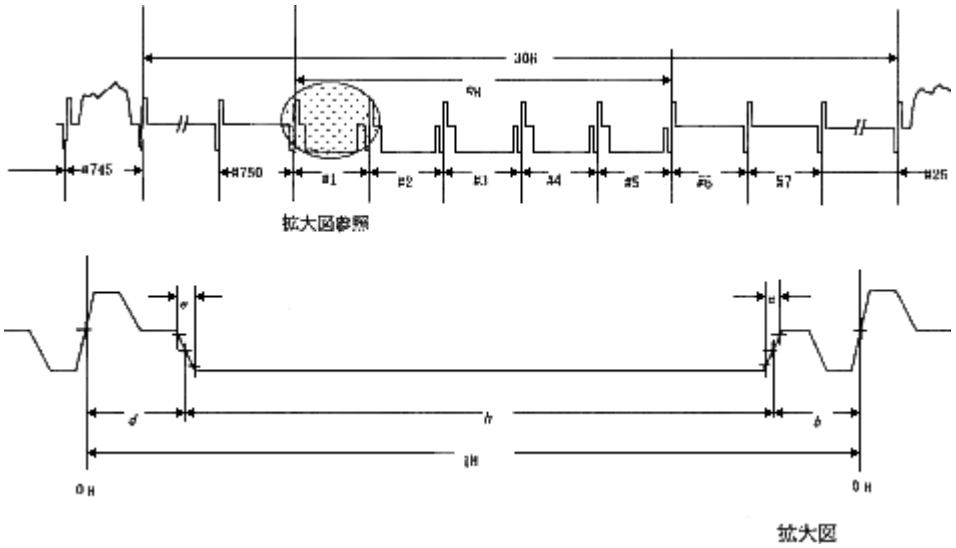
記　号	項　　目	許　容　範　囲
D	垂直ブランキング期間(μs)	42H＋5.35＋0.15 －0.10
A	垂直ブランキング期間の開始点から垂直同期パルスの開始点(H)	6±0
B	垂直同期パルス期間(H)	6±0
C	垂直同期パルスの終了点から垂直ブランキング期間の終了点(H)	30±0
s	垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間(10―90%)(μs)	0.07±0.01
q	垂直セレーションパルス幅(μs)	2.35±0.05

注1　Hは1水平走査期間を示し、1001／31.5(μs)である。

2　a、b、c、Sm及びVは、1の(2)に示す値とする。

6　走査線数が750本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1)　垂直同期信号の波形



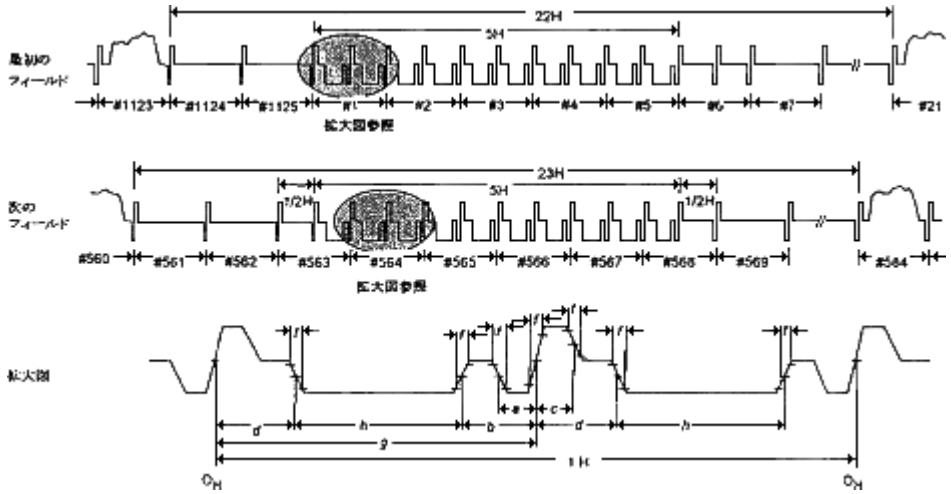
(2)　垂直同期信号の許容範囲

記　号	項　　目	許　容　範　囲
H	1ライン期間(T)	1650±0
h	垂直同期パルス幅(T)	1280＋0 －12

注　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

7　走査線数が1125本であつて、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1)　垂直同期信号の波形



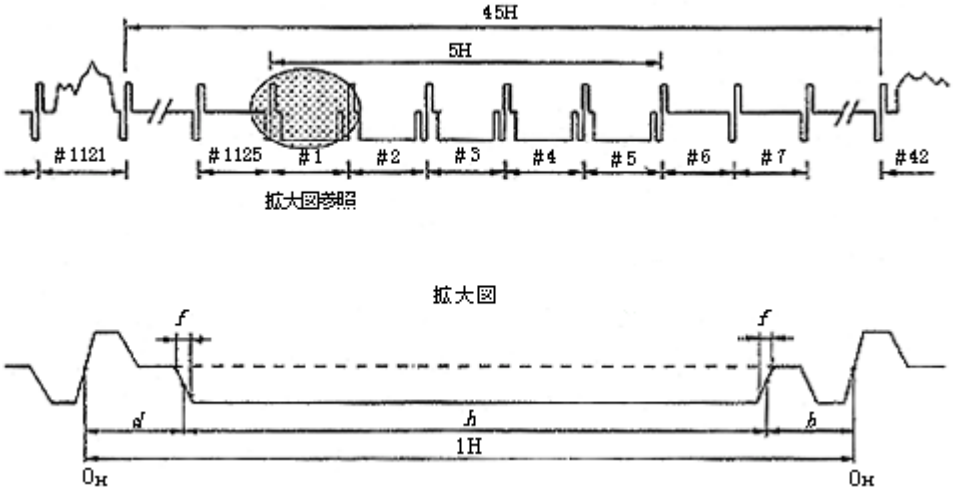
(2)　垂直同期信号の許容範囲

記　号	項　　目	許　容　範　囲
H	1ライン期間(T)	2200±0
g	1／2ライン期間(T)	1100±0
h	垂直同期パルス幅(T)	880±3

注　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

8　走査線数が 1125 本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1)　垂直同期信号の波形



(2)　垂直同期信号の許容範囲

記　号	項　　目	許　容　範　囲
H	1 ライン期間(T)	2200±0
h	垂直同期パルス幅(T)	1980±3

注　T は基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。